

国内最大のカスタムショー、HCS2015を大增ページ &大ボリュームで完全網羅!!!

CHOPPER

Journal

MAR 2016

28

All About American Hot Rod
and Custom Motorcycles

2016年3月号

チョッパー・ジャーナル 2016年3月27日発行第5巻28号(通巻28号)

HCS 2015
特別編集号!



巻頭特集 CHOPPER Journal Report 24th ANNUAL YOKOHAMA

HOT ROD CUSTOM SHOW 2015

YOKOHAMAホットロッドカスタムショー
カスタム・カルチャー・世界基準



Custom Bike Archive

カスタムバイク・アーカイブ



TRIJYA Road Hopper No.93

文・写真=渡辺まこと text&photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://trijya.com/>

2003年にパーツメーカーのプロトからリリースされたコンプリートマシンである“ロードホッパー”だが、もともとチョッパー的なスタイルを持つゆえ、たとえば貴方がそれを手に入れたとしても、ことさらにカスタムの必要性を感じないかもしれない。かつてZERO Engineeringを率いた現chabottの木村信也が当時デザインを監修し、生み出されたこのマシンはソレはソレで高い完成形を見せている。

このロードホッパーといえば、どちらかというところ落ち着いた

た“和”のテイストなのだが、しかし、それがすべての人にハマるとは限らない。また、そういう部分に手間を加えイメージを一新することもカスタムの醍醐味だろう。

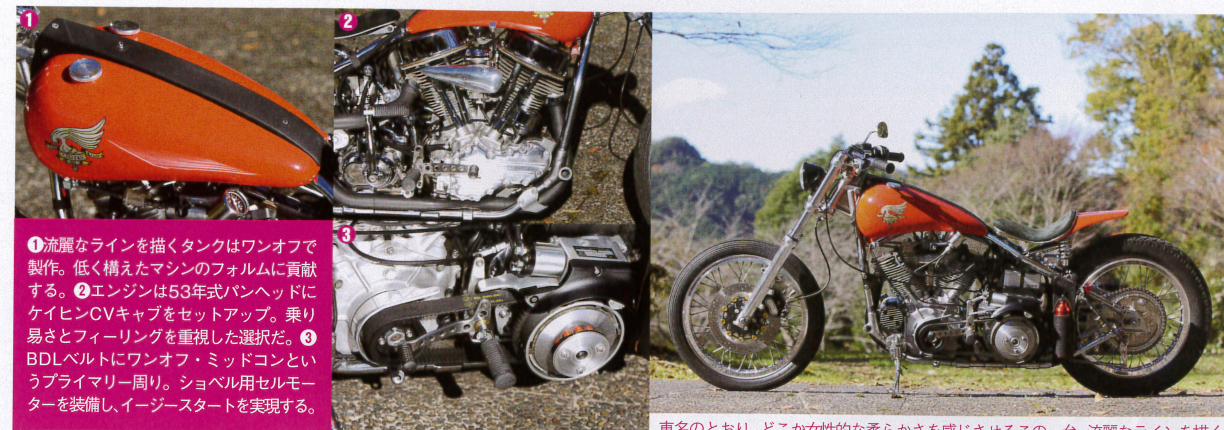
トライジャによる一台はサーフィンを趣味とするオーナーに向けてこの車両をリメイクしたもので、外装パーツを変更し、明るめのペイントでスタイルをリファイン。ご覧のとおり海が似合うさわやかなムードのフィニッシュだ。

シーサイドを流すなら……この姿の方が、きっと楽しい。



①タンクはサリナスボーズ製に換装した上でメーターを埋め込み加工。スニーカーのようなポップな配色が楽しい雰囲気だ。②マフラーはロードホッパー標準装備のエンド部をスラッシュカットに変更。Chopperらしいムードに拍車がかかっている。③リアフェンダーもペイントでイメージを一新。テールランプはイージーライダーズ製。

ロードホッパーにポップなペイントを施すことでイメージを一新。明るい雰囲気だ。



①流麗なラインを描くタンクはワンオフで製作。低く構えたマシンのフォルムに貢献する。②エンジンは53年式パンヘッドにケイヒンCVキャブをセットアップ。乗り易さとフィーリングを重視した選択だ。③BDLベルトにワンオフ・ミッドコンというプライマリー周り。ショベル用セルモーターを装備し、イージースタートを実現する。

車名のとおり、どこか女性的な柔らかさを感じさせるこの一台。流麗なラインを描く。

人間工学に基づいた扱いやすいライディング・ポジション……それぞれのカスタムビルドに於いて常に明確なコンセプトを掲げ、マシンを生み出すTASTEというショップだが、その中で必ず重きを置くのが、冒頭で掲げたとおりに“乗り易く、スタイリッシュ”という部分だろう。今回のパンヘッドベースのこのマシンは、その中でも特に、同店の一貫したポリシーを如実に表すものかもしれない。

“PRINCESS”という車名からもお分かりのとおり、この一

台は女性オーナーに向けて製作されたそうだが、ビルダーの河内山アキラはBobberやXR750などのエッセンスを取り込み、パンという旧車でイージーライディングを実現。プライマリーに備えられたセルスターターといい、アルミシートカウルを左右に振れることなく上下させる為、装備された新アイデアのストローク用スタビライザーといい、すべてに於いて“乗り易さ”が追求されているのは流石だ。

こんな“単車”なら……きっと女性にとって不安もない。

文=渡辺まこと text by MAKOTO WATANABE 写真=伊藤潤一郎 photographs by JUNICHIRO ITO
取材協力=テイスト コンセプトモーターサイクル phone 0426-52-5491 <http://taste-concept-mc.com/>

TASTE CONCEPT MOTORCYCLE PRINCESS

